

商工業活性化ビジョン第2期短期行動計画
(2012～2015)

2013年3月

大府商工会議所

商工業活性化ビジョン

第2期短期行動計画策定審議会

目 次

- I. 第2期短期行動計画の全体像
- II. 第2期短期行動計画の指針と方策
- III. 商工業活性化ビジョン第2期行動計画（2012～2015）

はじめに

大府商工会議所は、2009年にく大府ブランドを世界に！>を掲げ、「商工業活性化ビジョン2009～2018」を策定しました。

第1期短期行動計画（2009～2011）では、「ものづくり塾」始め「おおぶ社会人学舎」、「商人塾」や「産学官連携交流会」など、重点事業の推進に取り組んで参りました。

<組織運営の見直しと活性化>

第2期行動計画を策定するにあたり、そのコンセプトを「組織運営の見直しと活性化」としました。つまり、昨年と同じでは時代に対応できない。時代に即応した「組織運営の見直し」こそが、まず、活性化の基本であると考えたからです。

我々は、<大府ブランドを世界に！>の実現に向け、今までの方策を見直し、それぞれの方策に目標を設定し、目指すところをこの第2期短期行動計画の中で明確に致しました。併せて、日々の業務遂行の中で、方針と目標管理を徹底し、時代に即応した事業の見直しをすることにより、組織の活性化から地域の活性化に繋げて参ります。

<「環境保全の推進」と「IT化の推進」を基本テーマに追加>

2011年3月の東日本大震災は、エネルギー問題だけではなく、社会の価値観を一変させました。今、我々を取り巻く環境は、あらゆる分野でパラダイムシフトが進みつつあります。新しい価値観が求められる社会にあって、第2期短期行動計画では、従来からの基本事業を見直し、結果、これからの社会が求める『環境保全の推進』と『IT化の推進』を新たに基本テーマに追加しました。

<ヘルスケア産業企画会議（仮称）の設置>

世の中の仕組みが大きく変わる中において、いつまでも従来からの価値観にとらわれていると、時代に対応することはできません。これからの会議所の大きな目標の一つは、この地域にふさわしいニュービジネスを創造することです。これに向かって、今、大府市と東浦町が中心となって進めている「ウェルネスバレー構想」の実現に向け、会議所内に「ヘルスケア産業企画会議」（仮称）を設置し、新事業創出の提言と、併せて事業化を推進して参りたいと考えています。

<健康にこだわった新たな地域資源の創出によるまちづくり>

更に、大府を、誰もが自慢でき、外から訪れたいくなるような魅力あふれる地域にするため、「ウェルネスバレー構想」と連携して、「健康」にこだわった新しい大府ブランドを創造し、活力と賑わいのあるまちづくりに一層力を入れて参ります。

<大府ブランドの構築に向けて>

最終的には、ウェルネスバレー構想に基づく健康関連の幅広いインフラ整備と健康に特化したまちづくりに向け、大府市と大府商工会議所が一体となり、大府らしい“大府ブランド”を会員の皆様と一緒に考えて、共に構築し、その“大府ブランド”を世界に発信して参りたいと考えています。

会員皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

2013年3月

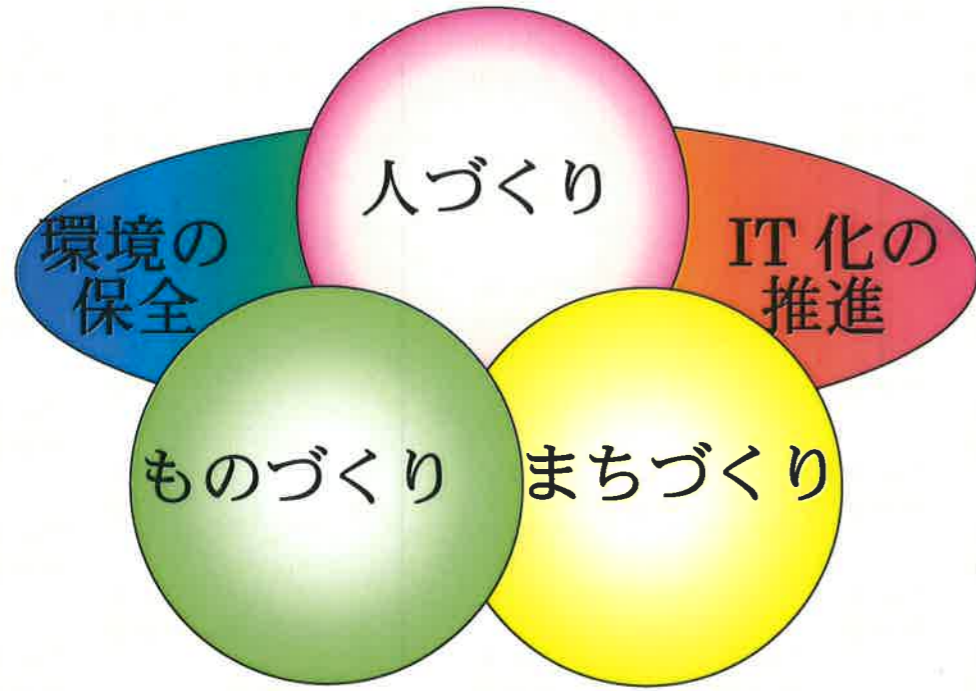
大府商工会議所

会頭 木村 勝昭

I. 第2期短期行動計画の全体像

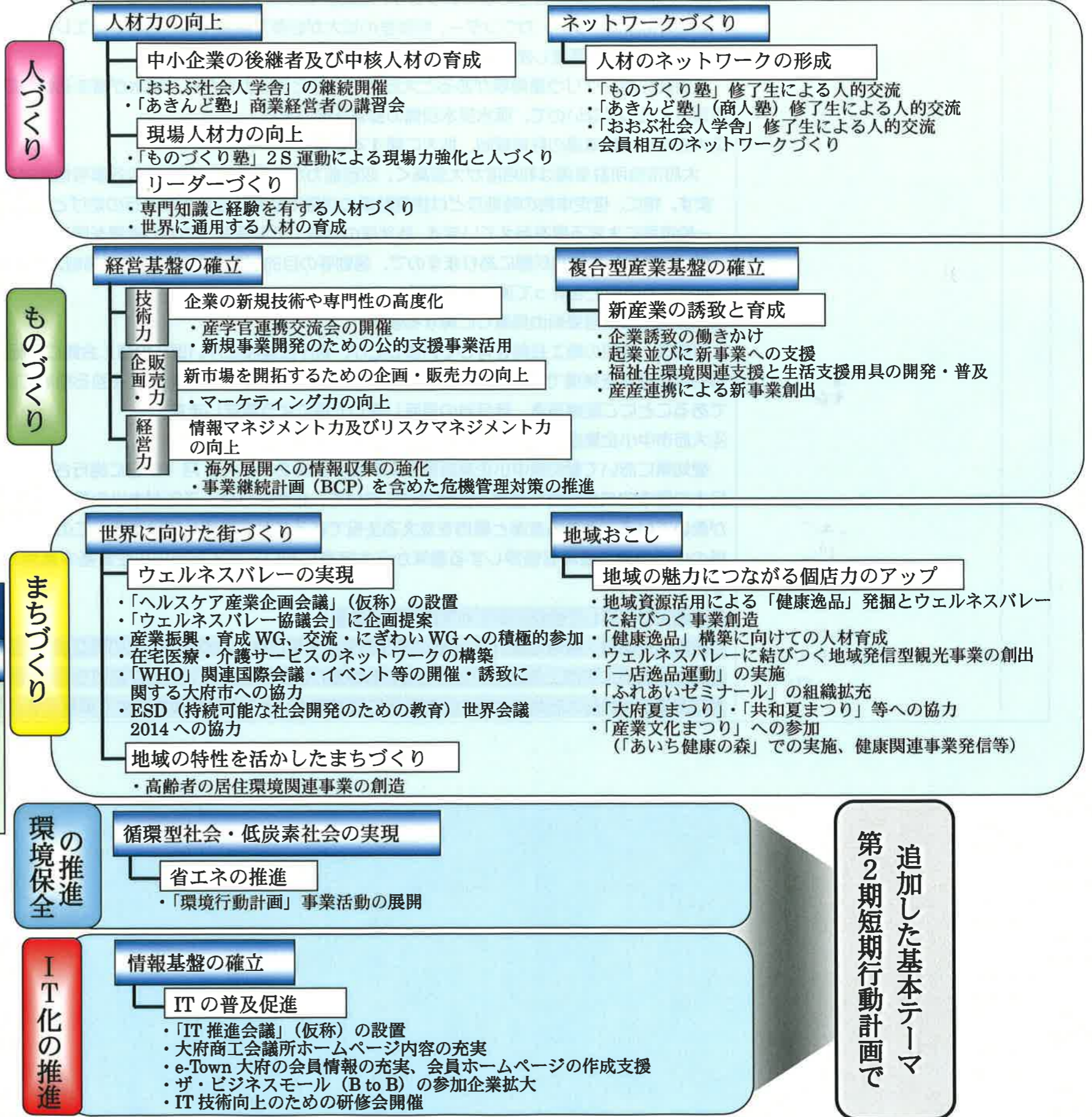
コンセプト：事業（組織・運営）の見直しと活性化

<大府ブランドを世界に！>



基盤整備	
道路等インフラ整備と街づくり(大府市へ要望)	商工会議所の基盤整備
<p>総合的発展の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 大府市商工業振興条例の制定 幹線道路等の整備促進 JR大府駅東南部及びJR共和駅前の中心市街地形成 新規事業及び創業・起業の助成 企業誘致及び助成制度の創設 	<p>組織率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員組織率の向上を図る <p>財政基盤の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議所の財政基盤の充実を図るため、運営管理の見直しを行う。
<p>安全・安心への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 警察署の誘致 地震・豪雨等の災害予防対策 	

大府商工会議所
商工業活性化ビジョン第2期短期行動計画 (2012-2015)



追加した基本テーマ
第2期短期行動計画で

Ⅱ. 第2期短期行動計画の指針と方策

テーマ1. 『人づくり』

(1) 人材力の向上

中小企業経営の推進力は「人」であり、人材力が企業発展の礎となる。このため、中小企業の経営後継者や中核人材の育成と合わせて現場人材力の向上及びリーダーづくりの事業を推進する。

1) 中小企業の後継者および中核人材の育成

「おおぶ社会人学舎」は、入門編と中級編を毎年各1回開催し、入門編は、6科目（経営者の心構え、経営企画・経営戦略、営業・顧客開拓、財務分析およびものづくり）と中級編が6科目（経営者の心構え、経営企画・経営戦略、営業・顧客開拓、マーケティング、財務分析および環境経営）の内容とするが、毎年反省を踏まえて見直しをする。

「あきんど塾」では、商業部会を中心とした経営者の参加による研修会を開催する。大府商工会議所のホームページやe-Town大府などと合わせてソーシャルメディア利活用の方法を研修する。毎年2回研修会を実施し、研修内容は、年度ごとに関心の高い研修会とする。

2) 現場人材力の向上

「ものづくり塾」は、実学講師の2S（整理・整頓）による現場人材力の向上を目指し、毎年5名（5事業所）単位の小グループ活動を通じて、1事業所毎で4回、改善活動を実施する。現場で塾生達が問題点を指摘し、現場改善を行う。活動は、合計年20回実施する。事業所毎の成果発表会を現場で行い、現場人材力の向上と職場への波及を狙いとする。2014年度から他の業種からの塾生参加を展開する。

総括発表会は、年1回、卒業した研修生を含む全体で行う。

3) リーダーづくり

専門知識と経験を有するリーダーを育成するため、各業種部会が開催する講演会等に他の部会からの参加を呼びかけ、商業、製造業、建設業、情報物流サービス業など、業種間の垣根を超えたテーマや課題などに企業が連携して取り組む必要がある。企業の連携を主導する人材の育成を図るシステムを構築する。

市場の国際化に対するグローバル人材の育成は、会員の要望により海外研修を実施する

(2) ネットワークづくり

それぞれの研修修了生のネットワーク形成の場を創り、新たなビジネスのきっかけとするため、当商工会議所主催の各種行事に、会員相互の横ネットワークの形成を図り、各研修修了生や若手経営者の人的交流を推進する。

1) 人材のネットワークの形成

「ものづくり塾」の発表会に過去の修了生が参加し、懇親会など交流の場を設定する。

「あきんど塾」では、塾生と修了生のネットワークによる商業活性化を目指して、「大府でまち歩き」、「ふれあいバザール」などの新しい事業を企画し、実施する。

「おおぶ社会人学舎」の修了生OBによる交流の場をつくり、ネットワーク形成を拡大する。各修了生や若手経営者の議員懇談会や賀詞懇談会に参加を促し、横ネットワーク形成の拡充を図る。

テーマ2. 『ものづくり』

(1) 経営基盤の確立

中小企業の経営基盤の確立は、「技術力」「企画・販売力」「経営力」の強化を図ることにより事業の専門性を高め、既存事業の強化・新事業の開発や市場開拓を図ることである。

個々の企業が経営基盤の強化を図るために、大学・研究機関など外部の支援を受け、課題解決を図る必要がある。専門のコーディネーターの派遣や公的支援事業活用などにより企業の経営基盤の強化を図る。また、市場のグローバル化に伴い、海外展開を図るための情報収集やリスクマネジメント及び事業継続の危機管理の強化を図る。

1) 技術力

中小製造業の技術力、現場力を高めるために「産学官連携交流会」事業を推進する。コーディネーターを配置し、大学や研究機関の先進技術を移転し、国や県の支援事業を活用する等、企業の基盤技術や専門性の高度化を図る。

2) 企画・販売力

会員企業が新事業の開発や新市場を開拓するためにはマーケティング力の向上を図る必要がある。専門のコーディネーター活用によるマーケティング力の向上を図る。又、当商工会議所ホームページのザ・ビジネスモールの説明会やフェイスブックなどの講習会を設けて情報発信力の向上を図る。

3) 経営力

企業の海外展開に対応する情報マネジメント力を高めるためJETRO、JICA、愛知県、(公財)あいち産業振興機構、(公財)中小企業基盤整備機構などの専門機関との連携を構築し、海外の情報収集の強化を図る。

企業の継続や不測の事態に対するリスクマネジメント事業継続計画(BCP)の策定支援と啓蒙・普及を図る。

(2) 複合型産業基盤の確立

大府市の産業構造は、製造業のうち輸送機器分野が約63%を占める。高齢化や国際競争力に強い複合型産業構造の確立には、新産業を創造する必要がある。特に、長寿・医療・健康・福祉などの「ヘルスケア産業」に繋がる事業を創出し、集積を図る。

1) 新産業の誘致と育成

ヘルスケア産業関連企業の誘致のため、産業立地促進制度などを活用するための調査を行い、大府市や所轄機関へ企画提案および情報発信をして誘致活動を推進する。

新産業創出の取り組みとして、愛知県や大府市の産業立地促進制度の活用による起業並びに新事業の育成の支援を行う。

大府市により進められる「あいち健康の森」の地域資源を活かした「ウェルネスバレー構想」の実現に向け、「医工連携研究会」の産学官連携事業では、大学や研究機関及び介護福祉施設との連携により福祉住環境関連サービス、生活支援用具の開発・普及支援、在宅医療のネットワーク構築など新事業の創出を図る。

製造業部会の「おおぶウェルネス開発研究会」により進められる産産連携事業では、会員企業が共通のテーマを決めて課題解決型の製品開発や販路開拓の活動に対して、新事業の創出の支援を行う。

これらの活動を通じて公的研究開発補助金事業に応募する場合は、専任のコーディネーターを派遣し、事業化の推進を図る。

テーマ3. 『まちづくり』

(1) 世界に向けた街づくり

大府市と東浦町は、「あいち健康の森」の地域資源を活かした「ウェルネスバレー構想」を基に、高齢化社会の在り方を世界に先駆けてヘルスケア産業のモデル事業として、「長寿・医療・健康・福祉産業」特区を目指している。

大府商工会議所は、「ヘルスケア産業企画会議」（仮称）を設置し、ヘルスケア産業創出と併せ、ヘルスケアに関連した各種街づくりの提案を、東浦町商工会と連携して「ウェルネスバレー推進協議会」を行う。

1) 「ウェルネスバレー」の実現

大府商工会議所は、「ウェルネスバレー」の実現に向けて、長寿・医療・健康・福祉産業の特区を目指し、「ヘルスケア産業企画会議」（仮称）を設置し、東浦町商工会と連携して「ウェルネスバレー推進協議会」にヘルスケア産業創出及び在宅医療・介護サービスのネットワーク構築など事業計画の提案を行う。

WHO国際会議・イベント等の招致に向けてネットワークを形成するとともに、健康をテーマにしたイベントの企画、ヘルスケア産業に繋がる産学官連携事業やESDあいち・なごやパートナーシップ事業（持続可能な社会開発のための教育）に参画をし、「ウェルネスバレー」の実現に向けた、各種地域活動を推進する。

2) 地域の特性を活かしたまちづくり

高齢者の居住環境は、調査の結果、ニーズが高く社会的な課題となっている。福祉住環境の関連課題である独居住宅・空き家対策、在宅介護の生活支援用具の開発、在宅医療のネットワーク構築など、長寿、医療、健康、福祉に関連するニーズ調査を行い、地域連携による事業化を推進することにより、新事業開発および関連企業誘致活動などを積極的に行う。

(2) 地域おこし

「健康」をキーワードにした地域資源活用による商業活動と製造業、情報・物流・サービス業との連携により、地域の魅力ある個店づくりと観光開発事業との融合による一体感のある地域ブランドづくりを推進する。

1) 地域の魅力につながる個店力のアップ

「げんき商店街推進事業」による「ふれあいゼミナール」「一店逸品」「健康逸品」活動によって、こだわりの商品やサービスは定着しつつあるが、更に「ヘルスケア関連商品」といった大府メニューの開発によってブランド力を高めていく。

「健康」をキーワードにした「大府ウェルネスツーリズム」などの発信型観光産業の創造事業を新たな活動として、既存のニーズの発掘と農商工連携などによるニュービジネスや新商品の開発事業と結びつけて、さらに発展させる。

「産業文化まつり」を「あいち健康の森」に会場を移し、「産学官連携交流会」、イベント、商談会、シンポジウム、発表会などの事業を同時開催することで大府ブランドの情報発信力を高め、地域の活性化を図る。

テーマ4. 『環境保全の推進』

(1) 循環型社会・低炭素社会の実現

地球温暖化ガス排出量の抑制と地域経済の発展を目指し、省エネルギーによる経済効果と環境配慮の意識を高め、商業、製造業、建設業、情報物流サービス業においてもマネジメントおよび事業内容の見直しの契機となる事業を推進する。

大府商工会議所は、2012年3月に「環境行動計画」を策定し、事業を推進するため、CO²排出量削減目標を2012年度より年間1%削減をし、15年間で15%の削減を目指している。主要なエネルギー使用量とCO²排出量とエネルギーコストが算出できる仕組みなど、“気づかせ” “気づき” “自発的な活動”の事業推進と成果を発信することによって省エネを推進する。

1) 省エネの推進

2012年4月から「環境行動計画」の実施に移行し、内容は三つのプロセスを設定している。

「エコ啓発コミュニケーション」では、“気づかせ”の内容で、講演会、講習会及び視察研修会の事業を実施する。

「エコ改善コミュニケーション」では、“気づき”の内容で、商工会議所のホームページのチェックシートにエントリーし、日常の主要エネルギーを記入することで見える化する、また、モデル事業所に対し、専門家が診断と改善提案を行う。更に、モデル事業所の実施結果を成果発表会で発表することで他の企業への波及を期待する。

「エコサポート」では、“自発的な活動”の支援を行う内容で、新技術の開発支援や情報発信及び企業相互に環境技術の補完を行うもので、地域として省エネルギーの意識が高まることを企画する。

また、会議所職員に対して環境知識向上の研修を行い、会員企業に「1次エネルギー使用量チェックシート」のアクセスを促し、会員企業のエコ活動につなげる。

テーマ5. 『IT化の推進』

(1) 情報基盤の確立

IT化は、スマートフォンなどの国際的な普及により、情報収集のみならずビジネスにおいても重要な手段として、今後もますます拡大していくと予想されている。会員企業の期待に応える内容とするためにIT推進会議（仮称）を設け、ITの普及促進を図る。

1) ITの普及促進

大府商工会議所のホームページ開設以来、アクセス数は、年間10万件（2011年開設8万件）を超えている。IT推進会議（仮称）を設立し、更に高いホームページの情報発信機能と利便性の向上を目指す。

現状の「e-Town 大府」は、会員企業のホームページとリンクし、「ザ・ビジネスモール」の企業間取引の活動内容が容易にアクセスできることとする。

ビジネス機能では、取引相手企業への事業紹介や受発注機能を充実し、参加企業の拡大を図る。一般市民とのコミュニケーションツールとして、本事業活動が消費者と直結することによりマーケティングツールとしてもその充実を図る。

IT化の技術向上のために会員企業にホームページ作成の支援を行うとともに研修会を実施する。

テーマ6. 『基盤整備』

(1) 道路等インフラ整備と街づくり

大府商工会議所は、商工業活性化ビジョンの基に、第2期短期行動計画（2012～2015）の推進に当たり、大府市第5次総合計画に基づく地域経済の持続発展の基礎となる大府市商工業振興条例の制定を行政に要望する。

1) 地域経済社会の総合的発展の取り組み

大府商工会議所の活動は、大府市商工業振興と目的を共有する。大府市の商工業の更なる発展のため、大府市商工業振興条例の制定を要望する。

大府市の製造業は、産業構造的に加工産業が産業立地の上で位置づけられる。その生産効率を左右する産業幹線道路網の整備を要望する。

JR大府駅東南部の中心市街地再開発およびJR共和駅前などの市街地活性化に向けた協議のための「街づくり委員会」の設置を要望する。

産業構造の変化に対する企業誘致、新規事業および起業に対して、補助金等の助成を要望する。新産業及び環境関連事業の工業団地の開発と企業誘致及び助成制度の創設を要望する。

2) 安心・安全への取り組み

安心な環境を維持するために、警察署の誘致を要望する。

地震や豪雨等の災害の予防対策として、耐震改修補助金並びに防災無線の運用改善と拡充を要望する。

(2) 商工会議所の基盤整備

商工会議所の事業を商工業活性化ビジョンに基づき第2期の短期行動計画を実施するに当たり、基盤となる会員組織率の向上を図るとともに、会議所の財政基盤の充実を図る。

第2期短期行動計画では、事業毎に指針・方策の目標管理を行う。実施に当たっては、会議所の財政基盤を確立した上で内部の運営管理の見直しを行う。

Ⅲ. 大府商工会議所 商工業活性化ビジョン第2期行動計画 (2012～2015)

商工業活性化ビジョン第2期行動計画のフレーム			目 標	工程表				
テーマ	指針	方策(行動メニュー)		2012年度実績	2013年度	2014年度	2015年度	
1・人づくり	(1) 人材力の向上	1) 中小企業の経営後継者および中核人材の育成	①「おおぶ社会人学舎」の継続開催	入門編、下記6講座を開催。 経営者の心構え 経営企画・経営戦略 営業・顧客開拓 マーケティング 財務分析 ものづくり 〔講座参加者数: 21.8人/回 講座満足度: 4.0点〕	2012年度の反省を踏まえ、改善して開催。(PDCAサイクルをまわす)	2013年度の反省を踏まえ、改善して開催。(PDCAサイクルをまわす)	2014年度の反省を踏まえ、改善して開催。(PDCAサイクルをまわす)	
			②「あきんど塾」商業経営者の講習会	中級編、下記6講座を開催。 経営者の心構え 経営企画・経営戦略 営業・顧客開拓 マーケティング 財務分析 環境経営	2012年度の反省を踏まえ、改善して開催。(PDCAサイクルをまわす)	2013年度の反省を踏まえ、改善して開催。(PDCAサイクルをまわす)	2014年度の反省を踏まえ、改善して開催。(PDCAサイクルをまわす)	
		③「ものづくり塾」2S(整理・整頓)運動による現場力強化と人づくり	・研修会 年2回 ・実施率100%	ソーシャルメディア活用編を2回実施(初級・中級)、おもてなしスキル向上編を1回実施	時流に合致した商業者向けセミナーの企画実施	時流に合致した商業者向けセミナーの企画実施	時流に合致した商業者向けセミナーの企画実施	
	2) 現場人材力の向上	①「ものづくり塾」2S(整理・整頓)運動による現場力強化と人づくり	・塾開催 〔4×5事業所:20回 サイト発表会:5回 総括発表会:1回〕/G 2013年×1G 2014年×2G 2015年×3G	塾生5名(5事業所)による2S活動を基本とした現場改善の展開 〔4×5事業所:20回 サイト発表会:5回 総括発表会:1回〕/G	塾生5名(5事業所)による2S活動を基本とした現場改善の展開 新講師の育成	新講師を増員して塾生5名(5事業所)の業種を広げ、2S活動を基本とした現場改善の展開 新講師の育成	新講師を増員して塾生5名(5事業所)の業種を広げ、2S活動を基本とした現場改善の展開 新講師の育成	
								②世界に通用する人材の育成
	3) リーダーづくり	①専門知識と経験を有する人材づくり	・人材づくりシステムの構築	各部会が開催する講演会等への他の部会からの参加を求める。	各部会が開催する講演会等への他の部会からの参加を求める。	各部会が開催する講演会等への他の部会からの参加を求める。	各部会が開催する講演会等への他の部会からの参加を求める。	
								②世界に通用する人材の育成
	(2) ネットワークづくり	1) 人材のネットワークの形成	①「ものづくり塾」修了生による人的交流	・交流懇親会:1回/年(対象:全修了生)	「ものづくり塾」第4期生総括発表会にて第1期～第5期生の交流の場を設定	「ものづくり塾」第5期生総括発表会にて第1期～第6期生の交流の場を設定	「ものづくり塾」第6期生総括発表会にて第1期～第7期生の交流の場を設定	「ものづくり塾」第6期生総括発表会にて第1期～第8期生の交流の場を設定
			②「あきんど塾」(商人塾)修了生による人的交流	・連携による新企画 2013年 3件 2014年 4件 2015年 5件	新企画として大府deまち歩き、スタンプハイキング、ふれあいパズルなどを実施	自主的な組織活動の支援 「商人塾」修了生との連携による新アイデアの企画実施	自主的な組織活動の支援 「商人塾」修了生との連携による新しいアイデアの企画実施・拡大	自主的な組織活動の支援 「商人塾」修了生との連携による新しいアイデアの企画実施・拡大
			③「おおぶ社会人学舎」修了生による人的交流	・OB会の立上げ :1件(2013年度) ・交流会の開催 :1回/年(2014～)	「社会人学舎」修了生に対する各種講習会への参加案内による交流の場づくり	「社会人学舎」修了生OBによる交流の場づくり 各種講習会の参加案内	「社会人学舎」修了生OBによる交流の場づくり	「社会人学舎」修了生OBによる交流の場づくり
④会員相互のネットワークの構築			・会員相互の横ネットワークの構築 ・議員懇談会・新年賀詞懇談会の拡充	「ものづくり塾」「あきんど塾」「大府社会人学舎」修了生相互の人的交流は未実施	議員懇談会の拡充(各修了生、若手経営者の参画)	新年賀詞懇談会の拡充(各修了生、若手経営者の参画) 2013年の反省を踏まえてPDCAサイクルをまわす	前年の実施内容の見直し(PDCAサイクルをまわす)	

商工業活性化ビジョン第2期行動計画のフレーム			目 標	工 程 表				
テーマ	指 針	方策(行動メニュー)		2012年度実績	2013年度	2014年度	2015年度	
2・ものづくり	(1) 経営基盤の確立	【技術力】 1) 企業の新規技術や専門性の高度化	①「産学官連携交流会」の開催 (会員企業・大学・公設試験機関及びコーディネーター)	・参加者数:200人以上/年	「産学官連携交流会」 次世代産業に係わる産学官連携の推進(参加者220名)	「産学官連携交流会」 次世代産業に係わる産学官連携の推進 各業種の参画 高校・大学のアイデア企画 (PDCAサイクルをまわす)	「産学官連携交流会」 次世代産業に係わる産学官連携の推進 産産連携の成果発表 各業種の参画 高校・大学のアイデア企画 (PDCAサイクルをまわす)	産業文化まつりと共催 「産学官連携交流会」 次世代産業に係わる産学官連携の推進 産産連携の成果発表 各業種の参画 高校・大学のアイデア企画 商談会の併設 (PDCAサイクルをまわす)
			②新事業開発のための公的支援事業活用 (会議所職員によるコーディネート活動)	・補助金、助成金の周知強化	公的支援事業の活用支援 会議所ホームページに掲載	コーディネーター活動による 公的支援事業の活用支援 会議所ホームページに掲載	コーディネーター活動による 公的支援事業の活用支援 会議所ホームページに掲載	コーディネーター活動による 公的支援事業の活用支援 会議所ホームページに掲載
		【企画・販売力】 2) 新市場を開拓するための企画・販売力の向上	①会員のマーケティング力向上	・新市場の開拓支援	社会人学舎におけるマーケティング講習会、ザ・ビジネスモール説明会、フェイスブック講習会を開催	コーディネーター活動による マーケティング支援	コーディネーター活動による マーケティング支援	コーディネーター活動による マーケティング支援
			【経営力】 3) 情報マネジメント力及びリスクマネジメント力の向上	①海外展開への情報収集の強化 (JETRO、JICA等の海外支援事業の活用)	・海外情報収集のリンク構築 (2015年)	海外展開・JETRO、JICAなど専門機関の情報収集	海外展開該当企業の抽出	海外展開企業への情報発信システムの構築
	②事業継続計画(BCP)を含めた危機管理対策の推進	・事業継続計画(BCP)および危機管理対策の啓蒙		事業継続計画(BCP)の周知IT活用の危機管理対策セミナー開催	事業継続計画(BCP)の周知および危機管理対策の啓蒙	事業継続計画(BCP)の周知および危機管理対策の啓蒙	事業継続計画(BCP)の周知および危機管理対策の啓蒙	
	(2) 複合型産業基盤の確立	1) 新産業の誘致と育成	①企業誘致の働きかけ	・企業誘致 1件 (2015年)	大府市・愛知県に誘致を働きかける 誘致に必要な企画提案	大府市・愛知県に誘致を働きかける 誘致に必要な企画提案	大府市・愛知県に誘致を働きかける 誘致に必要な企画提案	大府市・愛知県に誘致を働きかける 誘致に必要な企画提案
			②起業並びに新事業への支援 (愛知県や大府市の産業立地促進制度の利用)	・支援件数 1件 (2015年)	大府市産業立地促進条例に基づき、産業立地を図り雇用の拡大を目指す。	大府市産業立地促進条例に基づき、産業立地を図り建設業の雇用の拡大を目指す。	大府市産業立地促進条例に基づき、産業立地を図り建設業の雇用の拡大を目指す。	大府市産業立地促進条例に基づき、産業立地を図り建設業の雇用の拡大を目指す。
			③福祉住環境関連支援と生活支援用具の開発・普及	・開発事例 3件以上 (2015年)	「医工連携研究会」介護福祉施設との連携による「福祉用品開発WG」参加と支援	「医工連携研究会」介護福祉施設との連携による「福祉用品開発WG」の評価に参加支援	「医工連携研究会」介護福祉施設との連携による福祉開発用品の販路開拓を支援	「医工連携研究会」介護福祉施設との連携による福祉開発用品の販路開拓を支援
④産産連携による新事業創出			・新事業創出:2件以上 (2015年度)	「製造業部会-おおぶウェルネス開発研究会」を支援 ・介護福祉機器の開発に向けた連携基盤の整備 ・大府市の新規補助制度の拡充要望	「製造業部会-おおぶウェルネス開発研究会」を支援 ・企画・開発プロセスの習得と販売プロセスの構築 →大学・大手企業とのコラボ	「製造業部会-おおぶウェルネス開発研究会」を支援 ・事業化に向けた取組みサポート	「製造業部会-おおぶウェルネス開発研究会」を支援 ・事業化に向けた取組みサポート	

商工業活性化ビジョン第2期行動計画のフレーム			目 標	工 程 表					
テーマ	指針	方策(行動メニュー)		2012年度実績	2013年度	2014年度	2015年度		
3. まちづくり	(1) 世界に向けた街づくり	1) ウェルネスバレーの実現(あいち健康の森周辺に「長寿・医療・健康・福祉産業特区」を目指し健康関連産業の集積の実現)	①「ヘルスケア産業企画会議」(仮称)の設置 東浦町と連携してヘルスケアに関連した提案を「ウェルネスバレー推進協議会」に行う。	・ウェルネスバレーの推進	「ウェルネスバレー推進協議会」に参加	ヘルスケア産業企画会議(仮称)設置(大府商工会議所・東浦町商工会) 「ウェルネスバレー推進協議会」に参加	ヘルスケア産業企画会議(仮称)で企画提案書作成 ヘルスケア産業企画書をウェルネスバレー推進協議会に提出	ヘルスケア産業企画会議(仮称)の継続協議 提案内容の評価・改善協議	
			②産業振興・育成WGへの積極的参加	・産業振興・育成WGへの事業者参加による新事業の実施	産業振興・育成WG 戦略計画策定支援	・産業振興・育成WGへの事業者の参加	ウェルネスバレー推進協議会 「産業振興・育成WG」、 「交流・にぎわいWG」に ヘルスケア関連事業者の参加	ウェルネスバレー推進協議会 「産業振興・育成WG」、 「交流・にぎわいWG」に ヘルスケア関連事業の拡充	
			③交流・にぎわいWGへの積極的参加	・交流・にぎわいWGと地元商工業者との連携による事業の実施	・交流・にぎわいWG参画 げんきの郷での情報通信機能維持システム実証実験への参画	・交流・にぎわいWGと地元商工業者との連携模索			
			④在宅医療・介護サービスのネットワークの構築支援	・在宅医療・介護サービスネットワークの構築		在宅医療・介護サービスネットワーク構築への調査	在宅医療・介護サービスネットワーク構築の準備	在宅医療・介護サービス事業者会員勧誘ネットワーク構築 ホームページに関連活動を掲載する	
			⑤「WHO」関連国際会議・イベント等の開催・誘致に関する大府市への協力	・国際会議・イベント等の誘致	健康都市大府の知名度を上げるため、健康に関する世界会議の誘致に関する大府市への協力	WHO世界会議・イベント等の調査、誘致に向けて大府市と他の自治体、団体との連携を担当部署に提案 ・ヘルスケア企画会議(仮称)と連携して進める	WHO世界会議・イベント等の誘致に向けて大府市と協力し、地域連携を実施 ・ヘルスケア企画会議(仮称)と連携してイベント等の企画・実施	WHO世界会議・イベント等の誘致に向けて大府市と協力し、地域連携を実施 ・ヘルスケア企画会議(仮称)と連携してイベント等の企画・継続実施	
			⑥ESD(Education for Sustainable Development)世界会議2014への協力 ※ESDとは「持続可能な社会開発のための教育」	・ESD世界会議との連携		ESDあいち・なごやパートナーシップ事業の内容把握	ESDあいち・なごやパートナーシップ事業への参画	ESD世界会議 あいち・なごやパートナーシップ事業との連携	ESD事業の展開
	(2) 地域おこし	2) 地域の特性を活かしたまちづくり(医療・介護・福祉の充実)	①高齢者の居住環境関連事業創造 (有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅、グループホーム、介護施設など)	・会員企業の高齢者居住環境関連の事業化		会員企業の高齢者居住環境関連事業化のための調査・研究・勉強会の立ち上げ	会員企業の高齢者居住環境関連事業化のための「高齢者居住環境研究会」の設置	会員企業の高齢者居住環境関連事業化のための「高齢者居住環境研究会」の継続実施	
			①地域資源活用による「健康逸品」発掘とウェルネスバレーに結びつく事業創造 (助成事業等を活用)	・「健康逸品」認定制度の確立(2013年度)	「健康逸品」開発に向けた地域資源の調査研究、基準策定、試作	「健康逸品」販売に向けた試作開発、販売開始	「健康逸品」販路拡大	「健康逸品」販路拡大	
			②「健康逸品」構築に向けての人材育成 (助成事業等を活用)	・プレイヤーの育成 2013年5名 2014年5名 2015年5名	地域ブランドのコンセプト、マーケットニーズに合致した基準策定の支援	基準に沿った事業展開を目指す事業者の発掘と指導	基準に沿った事業展開を目指す事業者の発掘と指導	基準に沿った事業展開を目指す事業者の発掘と指導	
			③ウェルネスバレーに結びつく地域発信型観光事業の創出 (助成事業等を活用)	・健康・観光コースの創設 (2013年～2015年)	地域資源を活用した発信型観光事業の調査・研究	「大府ウェルネスツーリズム」の確立を目指した健康・観光の拠点創設 ・花いっぱい運動の検討	「大府ウェルネスツーリズム」の確立を目指した下呂市との連携の模索、市民観光ボランティアの組織化 ・花いっぱい運動の展開	「大府ウェルネスツーリズム」の継続実施 ・花いっぱい運動の継続実施	
			④「一店逸品運動」の実施 (げんき商店街推進事業)	・参加店満足度の向上 対前年の5%アップ	スタンプハイキングなど新事業の実施	健康逸品の開発推進と販売開始	健康逸品のブラッシュアップと逸品運動冊子への掲載	健康逸品のブラッシュアップと逸品運動冊子への掲載	
			⑤「ふれあいゼミナール」の組織拡充 (消費者とのコミュニケーションの強化)	・参加店拡大 50店以上 (2015年度) ・顧客満足度のアップ	一店逸品運動の全参加店への拡大展開と合同ふれあいゼミの実施(参加店30店)	地域発信型観光事業との連携による参加店の拡大 ・顧客満足度の調査実施	参画店舗の全市的展開・拡充 ・顧客満足度の向上	参画店舗の全市的展開・拡充 ・顧客満足度の更なる向上	
⑥「大府夏まつり」・「共和夏まつり」等への協力			継続	継続	継続				
⑦「産業文化まつり」への参加(「あいち健康の森」での実施、健康関連事業発信、花火まつり等)	・「あいち健康の森」で実施 (2015年)	既存事業(イベント)の見直し	産業文化まつり改革、花火大会実施に向けた検討組織立ち上げ	産業文化まつり改革、花火大会実施に向けた調査・議論	産業文化まつりを「あいち健康の森」で実施				

商工業活性化ビジョン第2期行動計画のフレーム			目 標	工 程 表				
テーマ	指針	方策(行動メニュー)		2012年度実績	2013年度	2014年度	2015年度	
4・環境保全の推進	(1) 低炭素社会の実現・循環型社会の推進	1) 省エネの推進	<ul style="list-style-type: none"> 講演会・講習会開催: 2回/年 視察研修会開催: 1回/年 自己診断シートの活用: 20事業所/年 省エネ診断の実施: 8事業所/年 環境改善グループ活動: 4回/年(2013年度) 事例発表 エコ相談窓口の開設: 3回/年 	環境行動計画実施【エコ啓発コミュニケーション】講習会: 2回 視察研修会: 1回【エコ改善コミュニケーション】チェックシートの普及: 21事業所 環境モデル事業所: 8事業所 事例の発信【エコサポート】新技術開発支援、情報発信、環境教育	環境行動計画実施【エコ啓発コミュニケーション】講習会: 2回 視察研修会: 1回【エコ改善コミュニケーション】チェックシートの活用・普及、環境モデル事業活動(省エネ診断など実施)、環境改善グループ活動、事例の発信【エコサポート】新技術開発支援、情報発信、環境教育	環境行動計画実施【エコ啓発コミュニケーション】講習会: 2回 視察研修会: 1回【エコ改善コミュニケーション】チェックシートの活用・普及、環境モデル事業活動(省エネ診断など実施)、環境改善グループ活動、事例の発信【エコサポート】新技術開発支援、情報発信、環境教育	環境行動計画実施【エコ啓発コミュニケーション】講習会: 2回 視察研修会: 1回【エコ改善コミュニケーション】チェックシートの活用・普及、環境モデル事業活動(省エネ診断など実施)、環境改善グループ活動、事例の発信【エコサポート】新技術開発支援、情報発信、環境教育	
		5・IT化の推進	(2) 情報基盤の確立	①大府商工会議所ホームページ内容の充実 ・会議所の活動内容が容易にアクセスできる ・会員企業のHPとリンク ②e-Town大府の会員情報の充実、会員ホームページの作成支援 ③ザ・ビジネスモール(BtoB)の参加企業拡大 ④IT技術向上のための研修会開催 ⑤IT推進会議の設置	・会議所サイトアクセス数 e-Town大府含め 目標: 140,000アクセス (2011年: 80000件) ・e-Town大府の参加増 目標: 年間 130件 ・ザ・ビジネスモール参加増 目標: 30件(2015年) チラシ配布 年間 4回 ・年1回: IT講習会開催	大府商工会議所ホームページ内容の充実 職員が「e-Town大府」加入ツールとしても利用し利用率増加に努める。 ザ・ビジネスモール説明会を会員向けに行い、提携サービスについても周知をはかった。 ザ・ビジネスモール説明会により、BtoB電子商取引サイトの活用法を学習 会計ソフトセミナー開催	ホームページ内容の充実 IT推進会議で協議 登録企業への改善提案 窓口巡回で周知を図る チラシを会報に入れる フェイスブックなどのソーシャルネットサービスの講習会開催。「ザ・ビジネスモール」への参加呼びかけ	ホームページ内容の充実 IT推進会議での調査、研究 登録企業への改善提案 窓口巡回で周知を図る チラシを会報に入れる 新ITサービスについての講習会開催。「ザ・ビジネスモール」への参加呼びかけ
6・基盤整備	(1) 道路等インフラ整備と街づくり	1) 地域経済社会の総合的発展の取り組み	①大府市商工業振興条例の制定の要望 ②幹線道路等の整備促進 ③JR大府駅東南部及びJR共和駅の市街地の再開発、中心市街地形成のため「街づくり委員会」設置の要望 (飲食店、ビジネス拠点、アミューズメント施設、スポーツ施設等の誘致) ④産業構造転換の新規事業及び創業・起業に対する補助助成 ⑤産業構造の変化に対応する工業団地の開発と企業誘致 ⑥環境関連事業の企業誘致及び助成制度の創設	・要望事項の現状把握、実施に向けた検討 ・要望事項の現状把握、実施に向けた検討 ・要望事項の現状把握、実施に向けた検討 ・要望事項の現状把握、実施に向けた検討 ・要望事項の現状把握、実施に向けた検討	平成24年度大府市への要望並びに平成25年度補助金等要望書の提出	年度ごとに要望書提出 要望事項のフォロー	年度ごとに要望書提出 要望事項のフォロー	年度ごとに要望書提出 要望事項のフォロー
		2) 安全・安心への取り組み	⑦警察署の誘致 ・防犯対策ネットワークの構築 ⑧地震・豪雨等の災害予防対策 ・耐震改修補助金の拡充 ・防災無線の拡充と運用改善	・要望事項の現状把握、実施に向けた検討 ・要望事項の現状把握、実施に向けた検討				
	(2) 商工会議所の基盤整備	①組織率の向上	・組織率2018年目標 68.1% (2012年現在56.9%)	新会員勧誘のサポートツールの作成	新会員の勧誘活動	新会員の勧誘活動	新会員の勧誘活動	
		②財政基盤の充実	・会員数増加による会費収入財源の拡大、及び事業収入の見直し (魅力ある事業に向けて)	事業収入率の把握 (当所12.7%: 全国平均21.4%)	会員数増加の日常活動講習会等の見直し	会員数増加の日常活動有料講習会等の実施	会員数増加の日常活動有料講習会等の拡充	